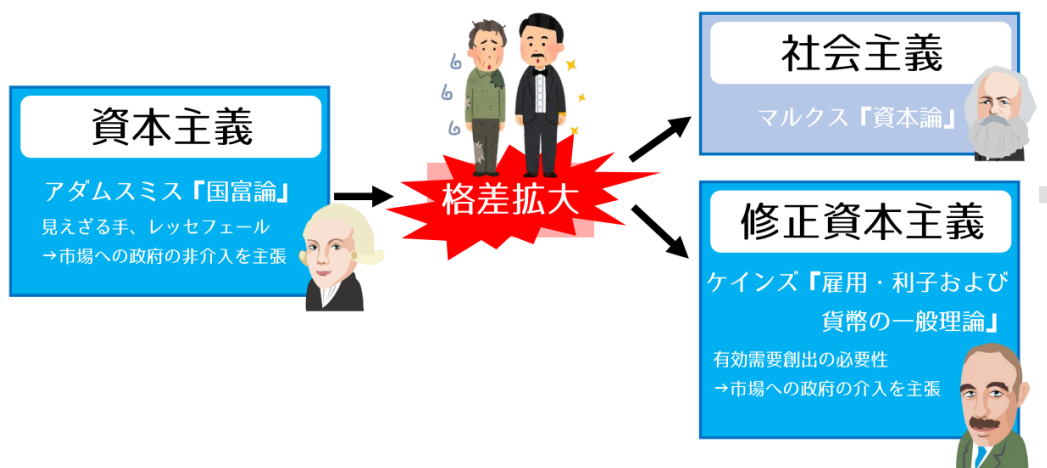


## 第1問

問1【経済学説について】経済の仕組みについて人間がどのように考えてきたかを学ぶ単元が経済学説です。「誰が何という書物を書いたか」を追っかけるだけだとつまらないですし、高得点は望めません。この問題では代表的な経済学者、マルクスとケインズの理解が求められています。ここではケインズの説明をします。



近代のヨーロッパでは、産業革命が多くの富を生み出し、いかにたくさんの物を作って売り（供給）富を自分のものにするかという資本主義が広がっていきました。しかし、そのような世界では富を持つ者と持たざる者に分かれ、そこに大きな格差が生まれます。資本主義が生み出す格差を何とかしないとイケない。そんな中、資本主義を否定する形で生まれたのが社会主義（マルクス）、修正した形で生まれたのが修正資本主義（ケインズ）です。

では、具体的にその考えに触れていきましょう。ケインズは著書『雇用・利子および貨幣の一般理論』で「有効需要」の説明をしています。それまでの経済学はどれだけ作り、売るかという供給側の理論であったのに対し、ケインズはどうすれば物を購入するかという需要側に目を向けました。

まずは言葉の定義を。有効需要の反対は「潜在需要」です。例えば、電子辞書を買いたいとします。電子辞書は高価でなかなか手が出ません。でも欲しい。この状態では「潜在需要」です。しかしそんなときに電子辞書を買えるだけの臨時収入があったとしたら電子辞書を買いますよね。このようにして潜在需要が有効需要に変わります。

では、これを失業者にあてはめて考えてみましょう。「お金があったらこれが欲しい！」なんてものは沢山あるのですが、お金が、つまり仕事が無いと「思い切って買ってみよう！」にはなりませんね。そこで政府の登場です。政府が仕事（公共事業）をたくさん用意すると、そこで働く人員が必要になります。こうして失業者は仕事を手に入れることが出来、買いたかったものを買うことが出来ます。このようにして有効需要が増えていくのです。

「有効需要」はケインズの考え方の一つなのですが、他にも面白い考え方は沢山あります。興味が湧いたら以下の本をおすすめします。

『経済学の名著 50冊が1冊でざっと学べる（角川ソフィア文庫）』 蔭山克秀著

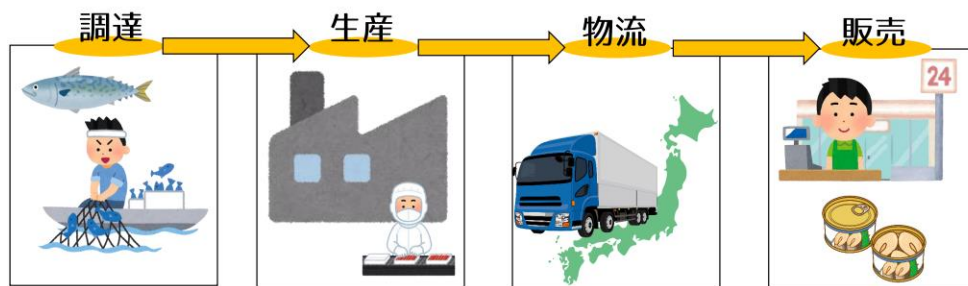
#### 第4問

問4 空欄アに入る言葉の二択、a. セーフティネット b. サプライチェーンをまずは説明していきます。セーフティネットはサーカスの空中ブランコのネットから転用されました。こんな感じです。



例えば、あなたは病気で働けなくなってしまいました。そんなときはどうやって生きていけば良いでしょうか？中学校の社会で日本国憲法第25条(生存権)を学んだと思います。私たちに「**健康で文化的な最低限度の生活を営む権利**」があります。最低限の生活を国がサポートしてくれる。そんな制度がセーフティネットです。生活保護が代表的です。

次にサプライチェーンを説明します。サプライは供給という意味です。ものを作ってから私たちの手にその商品が渡ることを想像してみてください。



上のイラストのような流れで商品が私たちの手元に届きます。この一連をサプライチェーンといいます。政治・経済でサプライチェーンが問題として登場するのは2011年の東日本大震災です。様々な生産拠点になっていた東北が被災することにより、物の不足が発生しました。サプライチェーンの寸断の問題は、現在の新型コロナの影響でも見られます。

以上のことから空欄アに入る言葉はサプライチェーンだと考えられます。では次に空欄イを見てみましょう。c. フェアトレード d. メセナの2つを選ぶ問題です。こちらも語句の意味を捉えれば答えることができます。

フェアトレードは発展途上国の商品を適切な価格で購入することです。適切な価格で購入することによって発展途上国に住む人々の生活が安定します。彼らの生活が安定することで購入者である先進国の企業も安定的に輸入をすることが出来るようになります。

メセナは企業が行う文化・事業活動の支援のことです。CSR(=企業の社会的責任)の一環として行われます。資金のサポートやイベントの実施などの方法で行われます。

以上から空欄イに入る語句はc. フェアトレードになり、答えは③です。

最後に、これから政治・経済の勉強を始める方に。

A 共通テスト政治・経済はグラフや表を読み取るだけの問題も出題されます。そのような問題に対する練習は

①制限時間を設定しない

②そのうえで一つひとつデータを見ていく

の2つから始めることが重要です。しっかり見たら答えることが出来るという成功体験が必要です。時事問題は以下の本がおすすめです。時事問題は政治・経済という科目に慣れてから取り組みましょう。

『日経キーワード』（日経 HR 編集部）

B 正誤問題の誤問題の扱い

問題文の中に「この中から誤っているものを選び」という問題を『正誤問題の誤問題』と私はよんでいます。この問題では、正解以外は全て正しい記述がされています。その選択肢は知識の宝庫です。そこで新しい知識を得ることが出来ますし、自分が記憶している知識にずれがないかを確認することも出来ます。

C 地図帳は必ず横に置いて政経を勉強すること

政治・経済の問題では地図上の位置を知った上で答える問題があります。面倒くさながらその都度確認しましょうね。

d 政治・経済は教科書に載っていること以外からもたくさんのが出題される科目です。普段から疑問に思ったら調べるクセをつけておきましょうね。教科書の内容は最低限知っておかなければならないものだと考えると良いです。

あなたの受験が一生ものの財産になることを願っています。頑張ってください。

くにい